

身障いばらき

URL <https://ibashinkyo.jp>

第82号(法人化第33号)

発行者 会長 米川 正典

編集

一般社団法人 茨城県身体障害者福祉協議会

茨城県水戸市千波町1918番地

TEL (029) 243-7010

FAX (029) 243-7018

第27回 ゆうあいカラオケ歌謡発表会



ゆうあいカラオケ歌謡発表会アトラクション



目

- ごあいさつ (茨城県福祉部長) 2
- 令和6年度 通常総会 2
- 新役員等の紹介 3
- 第27回 ゆうあいカラオケ歌謡発表会 4
- 総合相談・自立支援推進事業 5
- スマートフォン操作研修会 5
- 結婚相談事業・日曜交流会 6
- 茨城県障害者スポーツ大会 6
- 市町村だより(取手市・行方市) 7
- 各種相談及びジパング俱楽部の案内等 8

次



部長ごあいさつ

茨城県福祉部長

市村 美江

に、より一層積極的に取り組んでまいります。

さらに、茨城県障害者スポーツ大会をすべての種目で実施しましたほか、12月の「ナイスハートふれあいフェスティバル」にお

いても、芸術作品やステージでの発表会形式による音楽、ダンスの発表などを実施してまいります。

さて、本県では、本年3月に「第3期新しいばらき障害者プラン」を策定し、「ノーマライゼーション」と「完全参加」を基本理念に、「活力があり、県民が日本一幸せな県づくり」を目指し、権利擁護の推進や就労機会の拡大、スポーツ・レクリエーション活動の充実など、障害者施策の総合的な推進を図っております。

また、茨城県障害者権利条例により、広く合理的配慮の提供を求めてきたところですが、今まで、合理的配慮の周知啓発を踏まえ、合理的配慮の改正も

令和6年5月24日（金）、セキショウ・ウェルビーリング福祉会館において、令和6年度通常総会が開催されました。

主催者あいさつ後、会の運営発展等にご尽力され、このたび本会役員等を退任される方々に表彰状が贈呈されました。

【本会役員を退任】

・高野 重彦様（龍ヶ崎市）

・松崎 昌樹様（潮来市）

【市町村団体会長を退任】

・原田 保男様（行方市）

・大槻 幸榮様（河内町）

度事業報告、収支計算書、公益目的支出計画実施状況などが審議され、上程された各議案は原案どおり承認されました。

また、今年は任期満了に伴う役員改選の年であり、5期10年にわたり会長職を務められました高木昇氏が、このたび退任され、その功労をたたえ同氏に感謝状が贈られました。

なお、新会長には米川正典氏が就任され、新役員体制にて令和6年度がスタートいたしました。

県では、今後とも、各関係団体と連携しながら各種施策を推進してまいりますので、貴協議会の会員の皆様方におかれましても、なお一層のご理解とご協力をお願ひいたします。

結びに、茨城県身体障害者福祉協議会のますますのご発展を心より祈念いたしまして、挨拶とさせていただきます。

そして議事に入り、令和5年

令和6年度 通 常 総 会 を 開 催

新役員が選任される



通常総会の様子

会長就任あいさつ



会長
米川 正典

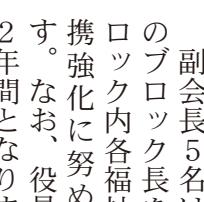
このたび、一般社団法人茨城県身体障害者福祉協議会の会長に就いたしました。

高木前会長をはじめ歴代会長が築いてこられた礎を受け継ぎ、会の発展・向上のため、一意専心の気持ちで取り組む所存です。

さて、当協議会は、昭和42年5月に結成し、会設立から今年で57年を迎えました。これまでの間、障害者に関する福祉施策については、国の法整備や県条例の制定などにより充実強化が進められてきましたが、一方では、障害者が抱える問題が多様化しているのも現状です。

また、各市町村の身体障害者福祉団体においては、高齢化や会員の減少などにより、会運営に関する厳しい課題も存在しております。このような中、本協議会が軸となり、会員の皆様が活動を通して喜びや生きがいを感じてもらえるよう、各種事業の充実と活性化に向け尽力して参りますので、何卒よろしくお願い申し上げます。何卒

新役員等の紹介

				
副会長 藤田 賢司 大子町	副会長 尾上 孝俊 常総市	会長 米川 正典 鉾田市	相談役 高野 重彦 龍ヶ崎市	名誉会長 高木 昇 常陸太田市
				
理事 小松崎 進 笠間市	理事 荻津 和良 茨城町	副会長 石津 初美 鹿嶋市	副会長 村上 克行 龍ヶ崎市	副会長 中島 秀男 石岡市
				
理事 軍司 有通 那珂市	理事 今井 輝勝 古河市	理事 服部 佳子 下妻市	理事 大野 幸一 美浦村	理事 齊藤 茂雄 取手市
				
2年間となります。 2年間となります。 2年間となります。 2年間となります。 2年間となります。	副会長5名は、各地区のブロック長を兼ね、ブロック内各福祉団体の連携強化に努めて参ります。 2年間となります。 2年間となります。 2年間となります。 2年間となります。	監事 中島 隆久 かすみがうら市	監事 山間 松代 神栖市	理事 伊藤 東樹 牛久市(青年部会)
				理事 荒井 栄司 つくばみらい市

令和6年度 上半期 実施事業報告

ゆうあいカラオケ 歌謡発表会

(青年部会)

第27回ゆうあいカラオケ歌謡発表会が、令和6年7月14日(日)、セキショウ・ウェルビービング福祉会館コミュニティホールにおいて開催されました。

参加者、応援者、ボランティアの方々を含め総勢119名多くの方に参加をしていただきました。

華やかな衣装をまとう方など出演者は思い思いのスタイルで熱演し、参加者・応援者ともに笑顔に満ち溢れたカラオケ歌謡発表会となりました。

また、アトラクションとして、潮騒ジョブトレーニングセンターの方々による琉球太鼓の披露、鄧穎博さん(ボア)などが行われ、会場の雰囲気は終始盛り上がりを見せていました。



伊藤青年部会長あいさつ



アトラクションの様子



総合相談・ 自立支援推進事業 (茨城県補助事業)

令和6年6月14日(金)、セキショウ・ウェルビーリング福祉会館において、身体障害者地区就労支援相談員を対象にした研修会を開催しました。

本研修会においては、茨城県福祉部障害福祉課西野孝副理事、茨城県身体障害者福祉団体連合会茨津和良会長が来賓としてご臨席いただきました。

研修の内容は、厚生労働省茨城労働局地方障害者雇用担当官黒澤嘉美氏から「障害者雇用の現状と施策」と題して、障害者雇用の課題、ハローワーク等が行う障害者支援、障害者差別禁止や合理的配慮の提供義務などについての講演をいただき、その後、研修会参加者からの質問や意見交換等が行われました。



講演の様子



研修会の様子



主催者あいさつ

今回、研修会を開催しました。



今回は、「Wi-Fiとオンラインサービスを使おう」、「スマートフォンで災害に備えよう」の二つのテーマをもとに、スマートフォンの基本的な操作や便利な機能の活用方法など、初心者でもやさしく学べる操作研修として実施しました。

参加者定員10名。午前の部・午後の部それぞれ5名ずつの少人数形式にて、専門講師が操作をサポートしながら分かりやすい講義内容で研修が進められました。

また、参加者それぞれ、日ごろから使用しているスマートフォンを持ち寄り、操作や設定に係る質問や相談対応なども行われました。

スマートフォン 操作研修会

令和6年7月25日(木)、セキショウ・ウェルビーリング福祉会館にて、スマートフォン操作研修会を開催しました。

今回は、「Wi-Fiとオンラインサービスを使おう」、「スマート



研修会の様子

結婚相談事業

(茨城県委託事業)

日曜交流会

令和6年9月7日(土)、クローバーズクラブ第1回日曜交流会を、朝日里山学校(石岡市)にて実施しました。

朝日里山学校は、里山文化を活かした交流や各種体験プログラムなどが用意されており、平成16年3月に廃校となつた小学校を活用した施設です。

今回は、この施設において、石窯焼きのピザづくりを体験し、里山メニュー(そば・天ぷらなど)とともに、自ら作った焼き立てピザを堪能するという内容で交流会を企画しました。参加者は、それぞれピザ生地



ピザづくりの様子

その後、里山学校の教室にて、焼きたてピザなどを皆で食べながら、楽しい交流会の時間を過ごすことができました。



交流会の様子



ピザ焼きの様子



開会式選手宣誓の様子

令和6年5月26日(日)に、笠松運動公園陸上競技場で、令和6年度茨城県障害者スポーツ大会開会式が行われました。

当大会においては、個人競技として陸上競技や水泳、ボッチャなど8つの競技、団体競技としてサッカー・ソフトボールなど5つの競技が行われました。

令和6年度 茨城県障害者スポーツ大会

市町村だより

取手市身体障害者福祉協議会

会長 齊藤 茂雄

この欄では、各市町村団体の活動
状況等を紹介しております。

当協議会は、昭和32年9月15日に設立。67年の年月を経て現在に至っております。

半世紀以上の歳月を重ねる中では、旧取手市と旧藤代町が平成17年に合併し、新生取手市が誕生。それに伴い、当時の取手市身障協と藤代町・ふじ福祉会が合併し、新たな「取手市身体障害者福祉協議会」がスタートしたという歴史があります。

合併当初は、会員数も約100名にのぼり、会の運営なども順調に推移してきましたが、会員の高齢化などにより年々退会者が増え、令和元年度には会員数15名まで減少しました。

会存続の為の抜本的な改善策を模索しながらも、まずは会員相互の交流や絆を大切に日々活動しております。

でもらうことも、会の存続・活性化につながる重要な取り組みのひとつと考えております。



会報誌「希望」



行事参加時の集合写真



山・銀輪の集いへの参加

行方市身体障害者福祉協議会

会長 原 喜美子

当協議会では、カラオケやスポーツなどを通して、楽しく活動を行っています。

令和6年2月18日(日)には、行方市玉造公民館にて歌謡発表会を行いました。カラオケが好きな会員が多く、参加者全員で歌を楽しみました。さらに、『手話披露曲』を披露し、どなたでも楽しめるような催し物となりました。また、3月9日(土)には、会員親睦研修として、栃木県へ日帰り研修を実施しました。岩下の新生姜ミュージアムや大前恵比寿神社へ赴き、学びを得ながら、会員同士の親睦を深めることができました。

また、令和5年度は、『鹿行地区障がい者スポーツ交流大会』が行方市にて開催されました。前年度まで、『鹿行地区身体障害者スポーツ大会』だったものを一新し、三障害すべての方々が参加できるようになりました。

高齢化が進む世の中ではありますが、新しいことや考えを取

り入れつつ、会員同士助け合いながら活動に力を入れていきた
いと思います。



スポーツ交流大会



歌謡発表会

各種相談のご案内

総合相談

結婚相談

登録制により出会いの機会の提供と結婚に関する相談を行っています。

相談を受ける内容

- ・就労・就職、手帳関係、年金、住居、介護その他生活上の相談全般です。

相談内容

- ・結婚登録
- ・結婚や日常生活に関する各種相談
- ・集いや交流会へのご案内等

対象者

県内に居住し身体障害者の手帳をお持ちの方で、心身ともに結婚生活が可能な方、または結婚を希望される方。

- ・相談日　月曜日～金曜日
(祝日、年末年始を除く)。
- ・時間　午前10時～午後3時まで。
- ※来所相談の場合は、事前予約が必要です。

加入申し込み

・当協議会事務局

- ・029-243-7010
- 常陽銀行及びゆうちょ銀行の指定口座への振り込みも可能です。
- 今年の暑い夏を無事乗り切ることができたような気がします。

(O・S)



ジパング俱楽部 特別会員制度

賛助会員の募集

身体に障害のある方やその家族からの様々な相談をお受けしています。

JR東日本が行っている身体障害者を対象としたもので一般会員より年会費が安いなど有利な制度です。

会員特典

JRの窓口で障害者手帳を提示して購入した乗車券が片道・往復・連続乗車券のいずれかで201km以上利用する場合、2～3割引で特急券、グリーン券等を購入できます。

なお、賛助会費は一口3千円

です。

編集後記

今年の夏も、記録的な暑さとなつた昨年を上回る厳しい夏でした。

記憶に残るのは、夏の暑さだけではなく、7月下旬から9月上旬かけて行われた「パリ2024オリンピック・パラリンピック」もそのひとつです。

- 1,400円（入会金は無料）
- 常陽銀行及びゆうちょ銀行の指定口座への振り込みも可能です。

開催期間中、日本選手はもちろん、各國アスリートの躍動に感動された方も多かつたと思います。スポーツを見て楽しむことで、

今年の暑い夏を無事乗り切ることができたような気がします。